



平成28年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No. 143 平成29年 2月28日発行

発行責任者 松井 裕次

校長室の窓から

南高愛と底力

校長 松井 裕次

愛を伴う南高魂

4月から生徒会の新常任委員長になる 榎津 楓 君の演説に感動した。「南高の未来を偉大なものにしたい。志願者減少に残念な気持ちを持っている。どうしたら志願者が増えるのか、中学生が南高にどういうイメージを持っているのか、他校と比較してどうなのだろうか。外面的な不満が、例えば環境や制服だとすれば、内面的な不満は何だろう」。彼は続いてこう訴えた。「愛を伴った南高魂（こころ）を持ち続けてほしい、南高への愛や熱意が込められたものは、必ず伝わるに違いない。愛があるのと無いのでは伝わり方が違う。どうすれば南高に愛を持ってもらえるのか、生徒全員の問題として考える必要がある」。さらに、全校生徒に行動を呼びかけた「あなたはどのようにして南高を受検したのですか、それを理解して中学生に伝えてください。行動の中心は一人の点ではない、南高生一人ひとりである」。南高を愛する人々の思いを代弁してくれた。大人でも愛を語るのに躊躇する人もいる。卒業生・在校生ともに正面から母校愛を語って、70周年を盛り上げてほしい。

歴史的な勝利と入賞

1月は本校部活動にとって、3つの九州大会出場をつかむ歴史的な躍進の月となった。

アンサンブルコンテスト九州大会出場 県大会でサキソフォーン4重奏の金賞受賞、そして県代表に選ばれた。私自身が賞状伝達をさせていただいた。特筆すべきは、メンバー4名の内2名が高校から吹奏楽を始めていることだ。このことは、楽器の経験年数よりも、互いの音色を聞き合う力、思いやる力が大切であることと、本気でやれば壁を乗り越えられるという高校生の底知れぬ力を教えてくれる。

バレーボール男子九州大会出場 県代表を賭けた試合は、正にバレーボールの醍醐味を魅せてくれた。しびれる試合展開とはこのことだ。4点ビハインドをひっくり返す底力は、普段の練習や遠征の中で培ってきたものだ。主将の山口達也君は右肩を痛めながらの出場だった。試合中、決して相手には見せなかったが、コートチェンジの際に右肩を押さえていたのが痛々しかった。主将の闘志とそれを支える仲間が引き寄せた勝利だ。

バスケットボール女子九州大会出場 新聞を大きく賑わせたバスケットボール女子の県新人大会、悲願の初優勝を決めた。歴史を大きく塗り替えた一戦だった。これまで何度も何度もはね返されてきた長崎西という大きな壁を、遂に突き破った。2ヶ月前は残り40秒で涙を飲んだが、大会毎にその差は確実に詰まっていた。苦しくても誰も下を向かない、決勝後半の修正力に大きな成長の跡が見られた。主将の中尾涼音さんが「自分たちの努力と先輩たちの思いが、この結果につながった」と取材に答えていた。長崎県のとっぺんに立ったら、見える世界も違ってくるだろう。これからは他チームの目標となる、勝ち続ける試練が待っている。バスケット会場でも表彰をさせていただいた。「感無量の読み方で『佐世保南』に力が入っていましたね」と言われた。

3つの九州大会、本人たちの努力はもとより、指導された先生方の無償の愛、そして支えてくれた部員やクラスの仲間たちの愛、保護者の温かい愛や見守りがあってのことだ。これらすべてが「南高愛」だ。

伝えたい底力

祈る様な気持ちで迎えるコンクールだが、新鮮な感動に心揺さぶられ、清々しい気持ちで帰路につく。一方、運動部の応援は足腰が反応して力が入り、試合が終わるとあちこちが筋肉痛になってしまう。多くの人がそうであるように、声援だけでなく、心も選手と一緒にブロックやリバウンドに跳び、レシーブやガードに走っているからだろう。ほんの少しでもアシストできているのなら嬉しいことだ。南高愛と底力を伝えたい。

南高から69回生に愛を贈る、卒業おめでとう！心より合格を祈る。これまで蓄えた自分の底力を信じて、やりきってほしい。

○福島県薄磯区長様よりお手紙をいただきました

2学年修学旅行では、4年前から復興学習を目的として、福島で津波の被害にあわれた薄磯地区を訪ね、語り部さんなどのお話をうかがっていました。しかし、昨年の福島での地震発生を受け、福島へ行くことが出来ませんでした。そこで、現地で献呈するはずであった千羽鶴を薄磯復興協議委員会へ郵送させていただきます。その後、区長様よりお礼のお手紙をいただきました。



全校生徒が復興を祈って折った千羽鶴を郵送しました

学校から薄磯地区へのお手紙

厳寒の候 ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

長崎県立佐世保南高校と申します。本校は、3年間、修学旅行において薄磯地区を訪問させていただき、語り部さんのお話をうかがい、そして折鶴の献呈をしておりました。今年度も行う予定でしたが、11月の地震発生のため、福島への修学旅行を変更するに至りました。

生徒たちが折った鶴を献呈することができませんでしたので、生徒たちの思いの詰まった折鶴をそちらに届けさせていただきます、献呈していただければと思っております。皆様の復興を祈念いたします。

薄磯区長様から学校へのお手紙

長崎県立佐世保南高等学校 2学年の皆様へ

拝啓

梅のつぼみもそろそろ膨らみ、春の気配も近く感じる今日このごろですが佐世保高校の皆様には、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

さてこの度は、思いがけず、心温まる贈り物を戴き本当にありがとうございました。

私共の地区では、127余名の犠牲者が出て、未だ復興半ばです。しかし、皆様の温かい気持ちを感じながら、これからも、住みよい街づくりを目指して頑張る所存です。又、今年の3月11日で東日本大震災より七回忌を迎えるにあたり、慰霊碑建立の除幕式が執り行われます。皆様のお心遣いを有りがたく受け止めながら、慰霊碑の側に謹んで掲示させていただきます。

多くの皆様と共に努力してまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜ります事をお願い申し上げます。ここに略式ながら、書面を持って御礼申し上げますとともに皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

平成29年2月吉日 薄磯区長 鈴木幸長

○新生徒会常任委員長改選

2月8日(水)に新常任委員長を決める選挙が行われました。今回は、立候補者が1名だったため、信任投票での実施となりました。立会演説会では、応援弁士の前田修哉君による力強い応援を受けて、1年2組の榎津楓君が熱弁をふるいました。

時にはユーモアも交えつつ南高の現状と問題点について持論を展開し、自分たちができることや今後の南高のあるべき姿についてなどの意見を語ってくれました。その演説は多くの生徒の心を動かす結果となり、賛成多数で次期常任委員長に選出されました。新生徒会は4月に始動します。佐世保南高校生徒会として様々な取り組みを行い、学校をさらに良いものにしていくよう期待しています。



○国公立大学前期受験者集会（3学年）

2月23日（木）、3年生対象の前期受験者集会が体育館で行われました。集会では、校長先生をはじめとして学年主任の石橋誠一郎先生、進路指導部より圓島仁先生など、多くの先生方から激励の言葉をいただきました。生徒たちは、最後まで諦めず、今まで身につけてきたものを全て出し切れるよう頑張ろうという決意を新たに、各々の前期受験へと出発いたしました。

69回生もこれまでの卒業生同様、先生方と共に一生懸命努力を積み重ねて参りました。1月のセンター試験後も放課後や土日に学校に出て学習に向き合い、それぞれの志望に向け、多くの生徒の頑張る姿が多く見られました。彼らの努力が実を結び、人生の中でこの時の自分のことを振り返ったとき、同級生をはじめ多くの方々に支えられ、大切な時間を過ごすことができた実感してくれることを心から願っています。頑張れ、69回生！

○1学年進路講演会

2月15日水曜日の7校時のロングホームルームの時間に、1年生向けの進路講話を実施しました。株式会社ベネッセコーポレーションの顧問である田川祐治先生の方から、「いよいよ中堅学年これからの2ヶ月が勝負」と題した講演をしていただきました。

講演では、勉強と部活動の両立、エビングハウスの忘却曲線を使って復習の重要性、さらには3月から4月の初旬までの学習への取り組み方など、1年生に役に立つ様々なお話をいただきました。これからの1年生の学校生活へのモチベーションを高めることができた非常に有意義な進路講演会でした。

（生徒の感想の抜粋）

・今日から心を入れ替えて、「成績伸び悩み期間」ぶつかっても、その後の「成績伸長期間」を信じて毎日コツコツ頑張っていこうと思います。その他にも「復習の大切さ」「英語の重要性」「両立の意義」「学習スタイルの確立の大切さ」「クラスの雰囲気」など大切な話をたくさん聞くことができ、自分にとってとても貴重な時間でした。

・特に印象に残ったお話は、復習が大切だという話でした。私は復習をしないといけないとは思っても、予習や課題で精一杯になり、これまであまり復習をしていませんでした。しかし、1回覚えただけでは79%の内容を忘れてしまうと聞いて、復習は絶対に必要だと改めて思いました。これからは、予習や課題を集中してなるべく早く終わらせるなど工夫をしながら、復習の時間を毎日少しでもとるようにしたいです。

・田川先生が何度もおっしゃっていたように、勉強とは何の関係もないように見える部活動で勉強への姿勢が学べるということ、そう考えると、なにげない挨拶や人間関係でさえも学習につながる面があると思うので、意味のないことはないと感じました。またその考えがあると、ポジティブな思考になりやる気も起こると思いました。

○本校書道部への寄贈

1月31日(火)本校4回生の森一義様から、書道用具一式を書道部に寄贈していただきました。小筆から大筆まで様々な種類の筆、半紙、墨液などが入っているのを見た生徒たちはとても喜んでいました。日々の練習はもちろんのこと、文化祭、芸術フェスティバルなどの学校行事、揮毫大会や書道展に向けた作品制作にこれから使用させていただきます。本当にありがとうございました。



○南高リニューアル

2月18日(土)に前館外部改修工事が終了しました。屋根庇・玄関庇裏の補修と前館全体を塗装しました。より安全で明るい校舎に生まれ変わりました。



現在後館トイレ内の手洗水を井戸水から水道水に切り替える工事を行っています。

今後も衛生的で快適な環境を整えていきます。



○3月の行事予定

- 1日 卒業式
- 2日 個人写真撮影(1年)
- 4日 Sプロ(2・3年)
スタディーサポート(1年)
- 6日 個人写真撮影(2年)
- 7日 検査会場設営
- 8日、9日 一般入学者選抜
- 11日 Sプロ(2年)、スピーキングテスト(1年)
- 13日 教室移動(2年)
- 14日 校内大会 教室移動(1年)



- 21日 教科書販売(1・2年)
- 22日 百人一首大会(1年)
海外研修結団式(1年)
- 23日 進路講演会(2年)
- 24日 後期終業式 離任式
- 25日 春季補習(1・2年)
海外研修(~4/1)
- 27日 春季補習(1・2年)

